

Crescendo

M E D I K I T A R T S C E N T E R くれっしえんど

2021.8
vol.144



『Le Filis 息子』宮崎公演

岡本圭人 インタビュー

ブルーノート東京オールスター・
ジャズ・オーケストラ

音楽ホールなのにフェルメール!?
ひなたのパロック#1

強カタックで古楽界に旋風を
イザベル・ファウスト&“イル・ジャル”

学びの扉を開こう!
アートな学び舎

 **メディキット 県民文化センター** 広報誌
MEDIKIT ARTS CENTER



ブルーノート東京オールスター・ジャズ・オーケストラ



おんがくのおもちゃ箱Part.14クラシック編



Brassの饗宴2021



ひなたのパロック#1



©Felix Broede
イザベル・ファウスト&
イル・ジャルティーン・アルモニコ

Blue Note TOKYO JAZZ ALL-STAR ORCHESTRA



日本ジャズ界のトッププレイヤーたちが集う「ブルーノート東京オールスター・ジャズ・オーケストラ」。彼らの魅力や、ジャズ、ビッグバンドの魅力について、一般社団法人宮崎県ジャズ協会の代表理事・香月保乃さんと副代表・黒木奈津季さんにお話を伺いました。



ブルーノート東京オールスター・ジャズ・オーケストラ



香月保乃 (かつき やすの)
一般社団法人宮崎県ジャズ協会 代表理事
ユーフォニアム・バルブトロンボーン・ボーカル・作曲家

中学から吹奏楽部でユーフォニアムを演奏。ジャズに興味がありつつも、始めるきっかけも場所も分からず、そのまま音大に進学しクラシックを学ぶ。大学では、ビッグバンドサークル「NEWTIDE JAZZ ORCHESTRA」に所属。その後独学でジャズを学び、渡米。2年間ニューヨークの大学院へ行き、その後ニューヨークを拠点に活動。2016年に帰郷し、現在は県内を中心に活動している。



黒木奈津季 (くろき なつき)
一般社団法人宮崎県ジャズ協会 副代表
ピアニスト

4歳から高校3年までクラシックのピアノを学ぶ。大学進学時に音楽ではない道を選ぶが、ピアノを弾くことが好きで趣味で続ける。最初のバンドデビューは、高鍋の社会人ビッグバンド「ナチュラル・サウンズ・オーケストラ」。これを機に様々な演奏に誘われるようになり、5年ほど前から本格的にジャズの演奏活動を開始。劇場が主催する「おんがくのおもちゃ箱シリーズ」でも、Part.3からバンドメンバーとして曲のアレンジ、演奏をおこなっている。

まず宮崎県ジャズ協会について教えてください。

香月 ジャズというと、ジャズクラブなど特別な場所に行かないと聴けないと思われがちで、会場に足を運ぶのにも少し勇気がいりますよね。レストランなど身近なところで流れていたりするのに、生のジャズは遠いところにあるというか、そんな感じがして。だったらこっちから出向いたり、イベントをつくって、より多くの方にジャズを知ってもらおう機会をつくりたいという想いから、2019年に立ち上げた協会です。

協会としてどのような活動をされていますか？

香月 福祉団体への訪問コンサートや、ワークショップなど様々な企画を行っています。「まちかどジャズ」という企画では、月に1度アートセンターの1階にある太陽の広場で、宮崎のプロのミュージシャンたちに演奏してもらっています。街の中に生の音楽が流れているっていうのを体験してもらいたくて。ニューヨークやニューオーリンズのように、音楽が生活に溶け込んでいる街を作っていくのが理想ですね。

黒木 私も保乃さんも子育て中なんですけど、ジャズって夜遅かったり、開演や休憩の時間が予定よりずれたり、というのが定番なので、夜には外出しづらい赤ちゃん連れのお客様などにも楽しんでもらえる「昼下りのコンサート」も企画しています。

ジャズのどういう所が好きですか？

香月 **黒木** なんといっても即興ですよ!!
香月 即興は、クラシックをしている時からずっと憧れていました。前衛的な無伴奏のユーフォニアムの曲を演奏したときに、「私

これもっと自由にやりたい」って思っちゃったんです(笑)。自由に吹いているように聞こえる曲ですが、楽譜では、当たり前ですけどきちんと休符やテンポが指定されていて。でも私は、「この休符もっと長くとりたいし、ここはもっと早く吹きたい!」って思っただけなんです。みんな同じように吹くというのが、私の性には合わなかったんですね。それでいうと、みんながちがう「べき」であり、それが個性だ、という考え方は、ジャズの魅力だと思います。ジャズは演奏で、自分のことを、自分のストーリーを話すものなので、それが自分の言葉でなければ意味がない、って言われるんですよ。クラシックも素晴らしいし、演奏するのも大好きなんですけど、クラシックをやっていたからこそ、そういうところに魅力を感じたのかな。

ジャズの中でも、ビッグバンドの魅力ってなんですか？

黒木 やっぱり迫力じゃないかな。あれだけの人数が一気に音をパツと出すと、圧倒されるし、一気に惹きつけられる。自分がビッグバンドの中で練習をしているときも、鳥肌が立つことがありました。

香月 コンボ(小さい編成)の魅力は、即興的な会話、そこで起きることが魅力だけど、ビッグバンドは、きちんとオーケストレーションされているので、楽器が効果的にそこに組み込まれている。ジャズのかっこいいコードや、ポリリズム(複数のリズム)を使ったり、そういうのを即興でやるのはなかなかむずかしい。ビッグバンドでしかできない音の重厚さや、ハーモニーのカラーは、最大の魅力だと思います。起承転結がしっかりと構成されていてストーリーができてくるから、聴いていて飽きない。

黒木 そういう意味では、ジャズ入門にもビッグバンドはいいかもしれないね。

BNTASJOのメンバーについて

*BNTASJO…ブルーノート東京オールスター・ジャズ・オーケストラ

香月 若手で売れっ子の人たちから、ずっとジャズ界を支えてきた重鎮の人たちまで、それぞれソロで活躍されているすごい人ばかりで構成されたビッグバンドですよ。

黒木 私、ピアノの宮本貴奈さん大好き!

香月 YouTubeでトランペットの二井田ひとみさんの演奏を聴いたんですけど、音がめっちゃめっちゃいいですよね。川村竜さんは、私の兄(香月宏文/ドラマー)が仲良くさせてもらっていたんですけど、素晴らしいベーシストだっていつも言っていました。トロンボーンの佐野聡さんも、すごく個性のある方で大好きです。

黒木 その「個性の塊」の人たちが一斉に音を出すんですよ?!

~~~~~  
—エリックさんはBNTASJOのメンバーについて、あるインタビューで「自分の色を強く持っている人が僕は好き。どうしてもアンサンブルを取る際、同じ色の奏法を持っている人がセクションとして集まるとびったり合うけど、どこか薄く、シンセサイザーのようになってしまう。なので、違う感性を持った人たちが集まって演奏した方が、すごい豊かな感じになる」という話をされていました。

**香月** すごく大事なことなんだと思う。それこそデューク・エリントンって、楽譜にパートじゃなくて、バンドメンバーの名前を書いていたってきいたことがある。つまりトロンボーン1、2とかじゃなくて、その人のためのパートだっていうことなんだよね。その精神を、エリックさんの言葉にも感じる。

だからこそ、このメンバー、このバンドなんだろうね。それってすごくいいなって思います。

**黒木** たくさんいるからひとつに合わせる、とかじゃなくて、それぞれの個性はそのままにっていうのが、彼らの魅力のひとつなんだね。

**香月** それってすごく「ジャズ」な感じがするよね!

**黒木** なるほど、さすが代表!(笑)

## BNTASJOの演奏について

**黒木** 私は2018年の「UMK SEAGAIA Jam Night」で彼らの演奏を聴きました。もうめっちゃめっちゃよかったです!Jam Nightってジャズ好きだけじゃなくて、単純にあの雰囲気を楽しみたいっていう人も来るじゃないですか。そういう人たちも含めて、みんなが食いつくように見ていたのを覚えています。引き込む力を感じましたね。

**香月** 昔のスウィング・ジャズっていうより、アレンジがモダンなものが多いから、最近の人が聴いても、かっこいい!って思えると思います。

**香月** **黒木** ああ〜!コンサートが楽しみ!!!

## エリック・ミヤシロさんからメッセージが届きました!!



よく使われがちな「All Stars」と言う名称、この名に決して恥じない、全員がリーダーとして世界中で活躍している最強メンバーで宮崎に行きます!今回の公演では幅広い年代の方に楽しんで頂ける様に、ジャズだけではなくポップス、ラテン、コンテンポラリーなど多彩なジャンルの音楽を用意致しますので、是非、我々と楽しいお時間が作れたら嬉しいです。それでは、お待ちしております!

### 公演情報

**ブルーノート東京オールスター・ジャズ・オーケストラ**  
directed by エリック・ミヤシロ

日時/2021年11月6日(土) 開場17:15 開演18:00  
会場/演劇ホール

出演/エリック・ミヤシロ(トランペット、コンダクター)/庵原良司(サクソフーン)/寺地美穂(サクソフーン)/小池修(サクソフーン)/鈴木圭(サクソフーン)/西村浩二(トランペット)/小澤篤士(トランペット)/二井田ひとみ(トランペット)/山崎千裕(トランペット)/中川英二郎(トロンボーン)/佐野聡(トロンボーン)/半田信英(トロンボーン)/野々下興一(トロンボーン)/宮本貴奈(ピアノ)/川村竜(ベース)/川口千里(ドラムス)ほか

# Le Fils 息子

舞台を中心に活躍を続け、数々の演劇賞を総なめにし、高い実力が評価されている岡本健一、ドラマ・映画・演劇と幅広く活躍する若村麻由美など、実力派出演陣でお届けする『Le Fils 息子』。本作で主演をつとめる岡本主人に、作品にかける想いを伺いました。

## 俳優／岡本主人

2007年、Hey!Say!JUMPとしてCDデビュー。音楽活動に加え、バラエティ・舞台・Vドラマ・ラジオ・CMなどマルチに活躍。これまでの主な出演作に、【舞台】「滝沢演舞城2007」(07)、「JOHNNYS' World」(12)、「TVドラマ」【3年B組金八先生・ファイナル〜最後の贈る言葉】(11)、「ファーストクラス」(14)など。18年から20年まで、アメリカ最古の名門演劇学校アメリカン・アカデミー・オブ・ドラマティック・アーツへ留学。卒業後、本作がストレートブレイ初舞台、さらに単独初主演となる。

撮影：黒木朋子  
ヘアメイク：渡司マサキ(couleur M)

## 単独初主演に決まった時の気持ちは？

主人公のニコラ役に決まる前に台本を読んで「この役はどうしても自分が演じたい」と思いました。主演に決まった時はうれしさと同時に「役者としてしっかり役に向き合いたい」、そして今は緊張よりも「はやくやりたい!」という想いです。幼少期の頃から父・岡本健一の舞台を観ていて、舞台への憧れが自分の中にずっとあったので、長年の夢が叶います。役作りでは彼になりきって生活したり、「彼の利き手はどちらだろう?」「好きな科目は?」「通学路は?」と日々、考察したりしています。翻訳も「ニコラだったらこういった表現が合うのではないか」と提案するなど、少し手伝わさせていただきました。作品とこのような携わり方ができて光栄です。

## 作品の見どころは？

ニコラは、繊細で優しい17歳。両親が離婚して母親と暮らすも折り合いがつかず、父と新しい母親の下に身を寄せることとなります。親の問題で子どもにはどうすることもできない、思春期の生きづらさを描いていて、同時に父親の息子に対する想いなど、どの世代のお客様の目線からも共感できる部分がある作品です。

## 父・岡本健一との共演

父からは「一役者として接するから」と言ってもらえました。役者としての父を

ずっと見ていて、尊敬している大先輩でもありますので、この言葉はうれしかったですし、親子としても「父親に認められたい」という想いがあります。台本には乱暴な言葉をぶつけ合い、お互いに身を削りながら演じるシーンもありますが、本当の親子が演じるからこそ、舞台上で描き出せるものがあると思っています。

## 海外留学の経験は

2年間のアメリカへの演劇留学と、幼少期にイギリスに住んでいたときに、家族の在り方が国によって違っていることや、それぞれの国の良さを間近で体験できたのは、海外の作品をやるにあたって参考になりました。演劇留学でゼロの状態から基礎を学ばせていただき、さまざまな国の、演劇の夢を持った人々と過ごせた時間は今後の貴重な財産になると思います。

## 最後にメッセージをお願いします

「生きること」や「家族との向き合い方」を感じることで作品ですし、できれば親子で観ていただきたいです。素晴らしい作品を作り上げられるよう、キャスト一同、頑張ります!

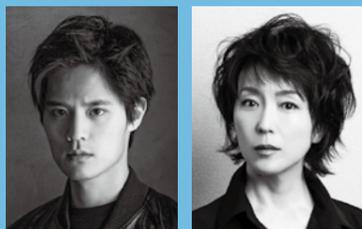


2021年6月某日、劇場にて

## STORY

「何かを変えたい。でも、どうしたらいいかわからない。」  
17歳のニコラは難しい時期を迎えていた。両親の離婚により、家族が離れ離れになってしまったことにひどいショックを受けて動揺し、何に対しても興味が持てなくなってしまっていた。嘘を重ねて学校にも行かずに日がな一日、目的もなく一人で過ごしていたところ、学校を退学になってしまう。父親(ピエール)は新しい家族と暮らしていたが、母親(アンヌ)からニコラの様子がおかしいことを聞き、何とか彼を救いたいと、離婚後に距離を置いていた息子と、向き合おうとする。生活環境を変えることが、唯一自分を救う方法だと思えたニコラは、父親と再婚相手、そして年の離れた小さな弟と一緒に暮らし、新しい生活をスタートさせるのだが…。

## 出演者



岡本主人 若村麻由美



伊勢佳世 浜田信也



木山廉彬 岡本健一

## 公演情報

### 『Le Fils 息子』

日時／2021年10月3日(日)  
開演14:00 開演19:00  
会場／メディキット県民文化センター  
(宮崎県立芸術劇場) 演劇ホール

【作】フロリアン・ゼレール  
【翻訳】齋藤敦子  
【演出】ラディスラス・ショラー

# ひなたのバロック #1

HINATA no BAROQUE

## #1 美味しい音楽と絵画のひとつ フェルメールの描いた古きオランダに耳をすませて

舞台は貿易国として世界中の文物が入ってきた17世紀のオランダ。“黄金の世紀”といわれ、数々の芸術家が活躍しました。例えば光の画家「フェルメール」。実は、現在残されている30点以上ある絵画の中の12作品に楽器が描かれているようです。彼の絵画の中にもある、今では珍しい当時の楽器の生演奏もこの企画の醍醐味の一つ。人々をはっとさせるような独自の切り口で知られる人気キュレーター・林綾野さんによるトークも見逃せません。

## 演奏する楽器は3つ!

今では目にすることも貴重となった楽器たちが登場!  
今年没後400年を迎える、オランダを代表する作曲家「スウェーリク」の楽曲はもちろんのこと、同じ鍵盤楽器でも異なる音色を聴き比べるのも楽しみの一つです。

### 1 チェンバロ

フォン・ナーゲル製作。グランドピアノと同様に弦は縦に張られるが、はじいて発音する点が異なる。ピアノの出現により一時期姿を消す。



### 2 ポジティブオルガン

須藤宏製作。キャビネットオルガンとも呼ばれ、裕福な家庭で家具のように置かれ楽しまれていた。教会にある大オルガンとは違った魅力を持つ。



### 3 ヴァージナル

久保田彰製作。琴のように横に張られた弦をはじいて弾く。フェルメールの絵画にも登場するように、庶民にも親しまれていた。



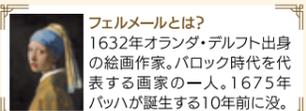
## 公演情報

### ひなたのバロック #1

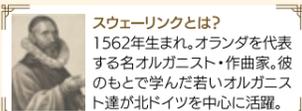
日時／2021年10月9日(土) 開場13:30 開演14:00  
会場／メディキット県民文化センター(宮崎県立芸術劇場) イベントホール

曲目／スウェーリク作曲:  
トッカータ／緑の菩提樹の下で／涙のパヴァーヌ／私はライン川を越えて ほか  
出演／大塚直哉(企画・監修/チェンバロ)、林綾野(トークゲスト/キュレーター)

「ひなたのバロック #2」  
日時／2022年2月23日(水・祝) 14:00開演 会場／イベントホール  
出演／大塚直哉(企画・監修/チェンバロ)、三ヶ尻正(ハンデル研究者)、桐山建志(バロック/ヴァイオリン)、佐藤裕希恵(ソプラノ)



フェルメールとは?  
1632年オランダ・デルフト出身の絵画作家。バロック時代を代表する画家の一人。1675年パッサが誕生する10年前に没。



スウェーリクとは?  
1562年生まれ。オランダを代表する名オルガニスト・作曲家。彼のもとで学んだ若いオルガニスト達が北ドイツを中心に活躍。

# イザベル・ファウスト & イル・ジャルディーノ・アルモニコ

世界最高峰のヴァイオリニストが目指す、さらなる高みへ

**イザベル・ファウスト** ヴァイオリン  
音楽的歴史文脈とそれにふさわしい楽器、そして現代の知識に基づいた忠実な音楽解釈で幅広い作品をレパートリーとしています。あらゆる時代と様式の楽器に精通し、芸術的探究心と豊かな知性、音楽をただそれだけのものとして終わらせることをせず、献身的に繊細さと良心をもって作品の本質を昇華する技量を持ち合わせています。また、CDを多数リリース。いずれも批評家から絶賛され、グラモフォン賞など数々の賞を獲得しています。



**豆知識**  
ファウストの使用している楽器は1704年製ストラディヴァリウス「スーピング・ビューティー」

**ジョヴァンニ・アントニーニ** 指揮  
イル・ジャルディーノ・アルモニコの創設者であり、リコーダー奏者・指揮者として活躍しています。2000年代以降は、指揮者としての活動に重点を置き、鮮やかな切り口で音楽界に旋風を巻き起こし、古楽の鬼才と呼ばれるようになりまし。斬新かつ革新的な音楽解釈は世界的にも名高く、ヴラチスラヴィア・カンタンス音楽祭の音楽監督、ザルツブルク・モーツァルト管弦楽団とバーゼル室内管弦楽団の首席客演指揮者などを務めています。



©Kamal Mehmet Girgin

**イル・ジャルディーノ・アルモニコ** バロック・オーケストラ  
1985年に結成された世界最高峰の古楽アンサンブル。17～18世紀の作品を主なレパートリーとしています。ヴァイヴァルディや18世紀のCD作品が数々の賞を受賞し、チェーリア・バルトリとの録音はグラミー賞を受賞しました。近年はプロジェクト《ハイドン2032》として、ハイドン生誕300周年に向けたハイドンの交響曲演奏会と、全曲録音をアルファと進行させています。



©Lukasz Rajchert

**公演情報**

**イザベル・ファウスト & イル・ジャルディーノ・アルモニコ**

日時/2021年11月23日(火・祝) 開場14:00 開演15:00  
会場/メディキット県民文化センター(宮崎県立芸術劇場) アイザックスターンホール

出演者/ジョヴァンニ・アントニーニ(指揮)、イザベル・ファウスト(ヴァイオリン) イル・ジャルディーノ・アルモニコ(バロック・オーケストラ)  
演奏曲/W.A.モーツァルト:ヴァイオリン協奏曲第1番 変ロ長調 K.207  
W.A.モーツァルト:ヴァイオリン協奏曲第4番 二長調 K.218  
ハイドン :交響曲49番 へ長調 Hob.II:49「受難」  
W.A.モーツァルト:ヴァイオリン協奏曲第5番 イ長調 K.219

## コンサートの前に!

2016年にリリースしたモーツァルトの録音は、その完璧なまでの美しさから一大センセーションを巻き起こし、2017年グラモフォン賞を受賞。モーツァルトの名盤に名を連ねています。コンサートの前に聴いてみてはいかがでしょうか。



「モーツァルト:ヴァイオリン協奏曲(全曲) レーベル:harmonia mundi

**2017年グラモフォン賞**  
(協奏曲部門)&(ベスト・レコーディング・オブ・ザ・イヤー)同時受賞!



## グラモフォン賞とは?

英国のクラシック音楽雑誌「グラモフォン」が1977年に創設したクラシック音楽賞。毎年、分野ごとに最優秀録音を表彰します。作品は「グラモフォン」誌の批評家などを中心に、放送局や音楽業界のさまざまなメンバーによって選出され、世界で最も権威のある賞の一つとされています。

## 担当者のオススメポイント

このコンビは数年前から非常に大きな注目を集めており、今、世界中の注目の的になっています。そんな彼らの公演をこの宮崎で観劇する貴重な機会です。どうぞお見逃しなく!

# 今年も開講! アートな学び舎 2021



“演劇やダンスに興味はあるけど、何から、どうやって始めたらいいんだろう?”そんな気持ちに応える学びの場として、2016年にスタートした演劇ワークショップシリーズ「アートな学び舎」。

今年も、内容も対象もバラエティに富んだ講座をご用意しています!ちょっとだけかじってみたいという方も、しっかり学んでみたいという方も。あなたのご参加、お待ちしております!

## 7月に開催!「なんちゃって演劇史」

学び舎シリーズ初となる演劇史の講座、その名も「なんちゃって演劇史」を、7月に開催しました。今回は会場だけでなくオンラインでも同時開催し、県内外から多くの方にご参加いただきました!

この講座では、紀元前から2,000年以上も続く演劇の歴史を、“なんちゃって”と題して、ほんの少し紐解いていきます。前半ではその長〜い歴史を大まかに振り返りながら、「ギリシア悲劇/喜劇」「コロス」「シェイクスピア」「コメディ・デラルテ」など、演劇史を知る上で重要なキーワードの数々に触れていきました。

後半は、日本の近現代の話に。西洋の文化が流入してきた明治になっても「歌舞伎」が“現代劇”だったこと、昔舞台にあがれなかった女性が再登場することになった理由など、「え!そうだったんだ!」と驚くような話を交えながら、現代に続く日本の演劇史に触れていきました。参加者の皆さんにとって、もっと演劇史を詳しく知りたい!、そんな気持ちになる講座だったのではないのでしょうか!



## 受講者のアンケートより(一部抜粋)

演劇に詳しくなかったのですが、詳しくなくても、とても興味をひいてくれる内容でした。特に明治から現在にかけての流れの話は、知らない話や目からうろこが落ちるような話ばかりで面白かったです。

知識を体系的に学べました。参考文献も早速手に取って読みたいです。

さっくりしていましたが、ここから自分が興味を持ったものを調べていける良いきっかけになりました。

私のような初心者にも解りやすく、とっつきやすく、興味深い講座でした。



## 今後のラインナップ

### 会話であそぼう!

**ことば・からだ・こころで繋がるキャッチボール**

会話をする時、私たちは言葉だけではなく、さまざまな感覚を総動員しています。表情、声、視線、身振りなど、からだ全体を使って行われるコミュニケーション。宮崎出身の俳優で、「新かぼちゃ」ともがら物語」シリーズ#1『板子乗降臨』、昨年の#5『神舞の庭』にも出演の日高啓介さんと一緒に、“会話”であそんでみませんか?

**2021年9月11日(土)・12日(日)**  
両日とも13:00~17:00 大練習室2

対象 中学生以上  
応募締切 8月29日(日) 必着・受信  
講師



日高啓介 (FUKAIPRODUCE羽衣)

参加者募集中!



### [全6回講座] 戯曲を読み解く!2021

今年も連続講座「戯曲を読み解く!」を開催します!一つの戯曲を、徹底的に読み解いていく講座で、今回は昨年に引き続きオンラインでの開催。この講座の魅力は、何といても参加者全員で会話をしながら進めていくところ。ほかの人の感じたことや視点を知ることで、より立体的に浮かび上がってくる戯曲の世界。この機会に、戯曲の魅力に触れてみませんか?

2021年  
**10月 6日(水)・ 7日(木)**  
**11月10日(水)・11日(木)**  
**12月 8日(水)・ 9日(木)**

19:00~20:30 オンライン(ZOOM)開催

対象 高校生以上  
講師



立山ひろみ

参加者募集中!



### おと・あかり・ワークショップ

舞台芸術には欠かせない、音響と照明。その役割を、実践しながら学べる人気のワークショップです。ワークショップでは、実際に音響や照明の機材を使って、参加者全員で短い作品に挑戦!俳優の動きや台詞、呼吸に集中しながら、“おと”や“あかり”を操るのは、やってみるとなかなか奥が深い…。これから触れる舞台芸術の楽しみ方が、きっと広がりますよ!ぜひ、一緒に体験してみませんか?

**2021年12月1日(水)**  
18:30~21:30 大練習室2

対象 中学生以上  
講師 (有)ユニークブレン



工藤真一 (照明)



関本憲弘 (音響)

9月末頃から募集開始予定!

メディキット県民文化センター(宮崎県立芸術劇場)  
自主事業公演チケット情報

|                                    |                                                                                                                                                                                                                      |                 |
|------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------|
| 9月12日(日)<br>開演 11:00               | おんがくのおもちゃ箱シリーズPart.14<br><b>クラシック編</b><br>【出演】田村 緑(ピアノ)、田島千愛(ソプラノ)<br>(全席自由)3歳以下:無料 4歳以上:500円<br>なかよし:700円(4歳以上2人1組)                                                                                                 | チケット完売          |
| アイザックスターン<br>ホール                   |                                                                                                                                                                                                                      | 300席限定<br>前売りのみ |
| 10月3日(日)<br>開演 14:00<br>開演 19:00   | 『Le Fils 息子』<br>【出演】岡本圭人、若村麻由美、伊勢佳世、浜田信也、木山廉彬、岡本健一<br>(全席指定)S席 7,000円(6,300円) A席 5,000円(4,500円)<br>B席 4,000円(3,600円) U25割 全席種半額                                                                                      | チケット発売中         |
| 演劇ホール                              |                                                                                                                                                                                                                      |                 |
| 10月9日(土)<br>開演 14:00               | ひなたのバロック#1<br>【出演】大塚直哉(企画・監修/チェンバロ)、林 綾野(トークゲスト/キョレーター)<br>(全席自由)一般3,000円(2,700円) U25割1,500円                                                                                                                         | チケット発売中         |
| イベントホール                            |                                                                                                                                                                                                                      |                 |
| 10月20日(水)<br>開演 11:00              | はじめてのクラシック♪<br>#11 ~クラリネット~<br>【出演】日高由美子(クラリネット) 河内朋子(ピアノ)<br>(全席自由)大人500円 子ども(未就学児)無料                                                                                                                               | 申込受付中           |
| 大練習室2                              |                                                                                                                                                                                                                      |                 |
| 10月24日(日)<br>開演 14:00              | '21みやざきの舞台芸術シリーズII<br><b>Brassの饗宴2021</b><br>【出演】■トランペット/本村孝二、椎葉祥太郎、興梠英恵、小崎輝岳、上柳光皓、若松 楓 ■ホルン/鍋西俊一、久保智輝<br>■トロンボーン/郡 恭一郎、中西達哉 ■チューバ/松下裕幸<br>■ピアノ/石黒りか、銀島 弓 ■監修/井手茂貴<br>(全席自由)一般1,000円(当日1,200円)                       | チケット発売中         |
| アイザックスターン<br>ホール                   |                                                                                                                                                                                                                      |                 |
| 11月6日(土)<br>開演 18:00               | ブルーノート東京オールスター・<br>ジャズ・オーケストラ directed by エリック・ミヤシロ<br>【出演】ブルーノート東京オールスター・ジャズ・オーケストラ<br>directed by エリック・ミヤシロ<br>(全席指定)S席 5,000円(4,500円) A席 4,000円(3,600円)<br>ペア割9,000円(8,100円)※S席のみ、前売りのみ U25割 全席種半額                | チケット発売中         |
| 演劇ホール                              |                                                                                                                                                                                                                      |                 |
| 11月17日(水)<br>11月18日(木)<br>開演 19:00 | '21みやざきの舞台芸術シリーズIII<br><b>THEATRE CARAVAN!!!!「寿歌〜ほぎうた」</b><br>【演出・出演】河内哲二郎<br>【出演】堀井政宏・吉田佳世(劇団わからんちゃん)、塚田次実(モノ遣い)、<br>高橋英美(舞踏)、辰巳光英・関根真理(音楽・演奏)<br>(全席自由)一般2,500円、U25割1,500円、高校生以下1,000円、小学生無料                       | チケット発売中         |
| 演劇ホール<br>舞台上舞台                     |                                                                                                                                                                                                                      |                 |
| 11月23日(火・祝)<br>開演 15:00            | イザベル・ファウスト &<br>イル・ジャルディーノ・アルモニコ<br>【出演】ジョヴァンニ・アントニーニ(指揮)、イザベル・ファウスト(ヴァイオリン)、<br>イル・ジャルディーノ・アルモニコ(パロック・オーケストラ)<br>(全席指定)S席7,000円(6,300円)<br>A席5,000円(4,500円) B席3,000円(2,700円)<br>親子割5,500円(小・中学生+一般、A席のみ) U25割 全席種半額 | チケット販売<br>一時停止中 |
| アイザックスターン<br>ホール                   |                                                                                                                                                                                                                      |                 |

Attention(ご注意) ◎記載情報は変更になる場合があります。◎( )内はくれっしえんど倶楽部会員価格です。  
◎U25割は鑑賞時25歳以下が対象。その他の割引サービスの詳細は、劇場HPをご覧ください。  
◎当日券が出る場合は、一般チケットのみ500円増になります。※一部公演除く  
◎託児サービス(有料・事前申込要)をご利用いただけます。※一部公演除く

劇場にゆかりのある方のコラム・メッセージをご紹介します。

hello!けんげき vol.3 井手 茂貴さん

「秘密基地は今も鮮やかに」

私が子供の頃、緑生い茂る宮崎大学農学部の敷地を走り回っていました。私の絶好の遊び場だったのです。時は流れ、その跡地に芸術劇場を含めた文化施設の建設が決まりました。大量に運び込まれる木材。あの頃は建設中の様子を眺めることができたので、建物やパイプオルガンが組み上がる過程を見るために足繁く通ったのです。宮崎にオーケストラの演奏ができる本格的なホールがまだなかった時代です。そして偶然にも当時、宮崎県警察音楽隊長を務めていた事務所の隣が劇場建設の準備室。現場の職員と「練習室は10室、欲しいなあ」「楽器を運ぶには段差はないに限るよ」などと熱く語ったものです。劇場が完成して、こけら落としの一貫としての公演で来宮したプラハ交響楽団の演奏会を聴いたとき「宮崎にクラシックの時代が来た!」と夢が実現した想いでした。その後、宮崎国際ストリート音楽祭の実行委員長も兼任するなど、宮崎のクラシック界に携わってきました。今回、みやざきの舞台芸術シリーズで「Brassの饗宴2021」を企画しました。宮崎県ゆかりの音楽家たちが故郷の地で演奏会を開催できる喜びはひとしおです。子供の頃、秘密基地のように遊んだ跡地は今では音楽の基地となり、その練習室や舞台を駆けまわっている毎日です。夢は今も鮮やかです。



'21みやざきの舞台芸術シリーズII  
**Brassの饗宴2021**

2021年  
**10月24日**  
開演 14:00



会場 **メディキット県民文化センター アイザックスターンホール**

【チケット料金】全席自由  
一般:1,000円(当日1,200円) \*未就学児入場不可  
【演奏曲】ロナルド・プレステイ:5本のトランペットの為の組曲  
I イントラダ II コラール III フィナーレ  
ロジャー・ジョーンズ:3つのチューバの為の組曲  
クリス・ヘイズル:金管10重奏の為の組曲 三匹の猫より  
「ミスタージャムス」「クラークン」など

劇場の未来をつくる!!  
**なかで働く人**  
スタッフ紹介vol.3

劇場に行くときよく見かけるスタッフ。中の人ってどんな人がいるの?どんな仕事をしているの?今回はこのスタッフをご紹介します!



名前 ひぐち  
部署 レセプションスト  
出身地 宮崎県  
趣味 舞台鑑賞・出演



必需品のペンライト  
暗くなった会場の中でお席へご案内するときに使う

お仕事の内容は?  
イベント時にチケットの確認や座席へのご案内、クロークのお預かりなどを行っています。  
みなさまへメッセージ  
お声をかけていただきやすいように心がけています。皆さまのご来場をお待ちしております!

お問合せ

公益財団法人 **宮崎県立芸術劇場**  
MIYAZAKI PREFECTURAL ARTS CENTER

〒880-8557 宮崎市船塚 3-210  
http://www.miyazaki-ac.jp/

TEL.0985-28-3208 FAX.0985-20-6670  
Twitter and facebook 随時更新中!「フォロー」と「いいね!」お待ちしております。